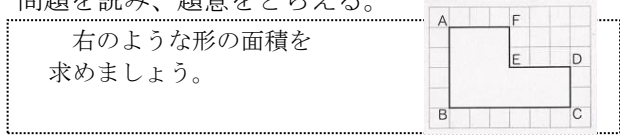


月日 (校時)	単元名	教材名
11月7日 (水) 3校時	面積のはかり方と表し方	広さを調べよう
本時のねらい (5 / 11時間) ○学習したことをもとに、複雑な図形の面積の求め方について考え、説明することができる。		
評価規準 [考] 長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を考え、言葉や図、式を用いて説明している。(発言・ノート・観察)		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 問題提示 10:35 問いの共有	1 前時の振り返りをする。 ・公式を使って、長方形や正方形の面積を求めることができました。 ・周りの長さが等しくても、面積が等しいとは限らないと知りました。 2 問題を読み、題意をとらえる。 右のような形の面積を求めましょう。  ○気がついたことや、これまでの図形と何が違うか考えましょう。 ・ふくざつな図形だけど、分けると長方形になりそう。 ・これまでに習った長方形や正方形に変えると求めることができそう。	・ペアで前時の学習をふり返させる。 ・分かっていること、これまでの図形との違い等に気付かせる。 ・図を掲示し、思考の手助けにする。
【展開】 10:40 課題把握 ・シラバス ・言語わざ見通し 10:45 解決活動 ・一人学び ・班学び 10:55 集団解決 ・学び合い 11:05 ・考察 11:10 まとめ	3 課題を把握する。 ふくざつな図形の面積を求める方法を考え、説明しよう。 (一人(5分)・班学び(6分)・学び合い(15分)・まとめ(5分)・振り返り(5分)) 「自分の考えを図や言葉を使って、説明することができる。」 ○課題解決に向けて、見通しをもちましよう。 ・辺ABの真ん中から横に補助線を引いたら、二つの長方形になります。 ・点Eから縦に補助線を入れても、長方形として考えることができます。 4 面積を求める方法を考える。 ○今まで学習したことを使って、求め方を図や式、言葉で表しましよう。 ・点Eから横に線を引っ張って、二つの長方形として考える。 $2 \times 3 + 2 \times 6 = 18$ 答え 18cm ² ・大きい長方形から、小さい長方形を引く。 $4 \times 6 - 2 \times 3 = 18$ 答え 18cm ² ・切った長方形をくっつけて、一つの長方形として考える。 $(2 + 4) \times 3 = 18$ 答え 18cm ² 5 考えたことを出し合い、説明する。 ○出てきた意見で、似ているところや違うところを出し合いましよう。 ・1班と3班の考え方は、分け方は違うけど、長方形として考えているところは同じです。 ・ない部分があるものと考えて、全体から引く方法は分かりやすいです。 ○出た意見から、考察をします。 ・分けて足し合わせると全体からのける二つのやり方で、求められる形にして計算するとよい。 ・長方形の面積の公式を使って計算するとよい。 ふくざつな図形の面積を求めるときは、これまでの学習した長方形などの形をもとにすると、面積を求めることができる。	【キーワード】 面積・公式 長方形の面積 補助線 ・友だちが見ても、考え方が分かるようにかくことを伝える。 ・1つの方法で面積を求めることができたなら、別の方法で出来ないか考えるように伝える。
【終末】 11:15 適応問題 振り返り	6 問題に取り組む。 ○次の図形の面積を友だちの考え方を使って、求めよう。 7 学習したことを振り返る。 ・むずかしいと思ったけど、習ったことを使えば、簡単だった。 ・分けて計算したり、ない部分がある部分として計算するなど、新しい考え方が分かった。	・全体学習で出た友だちの考え方を使って、練習問題に取り組むようにする。

